

おひさま サタダ

2012



vol.112

5

はいっ ポーズ!

《相内地区・柏木》

まさみ ふうま
小野剛美さんと楓馬くん

(紹介は2ページです)

特集

- 天気の急変を見逃すな!
大雨から身を守ろう
- 会員と連携強めて生産向上
～生産組織新代表の抱負～



タマネギ定植

季節の薫り



全国一のタマネギ生産量を誇るJAきたみらい管内で、苗の定植作業が4月20日から始まった。

雪解けの遅れで畑作業も遅れ気味だったが、気温の高い日が続き、例年同様の開始となった。

2月中旬から極早生種の播種が始まり、生産者は温度計や天気予報をチェックしながら日々、ビニールハウスの温度管理などに努めた結果、苗もすこぶる丈夫に育った。

庭先に飾れた鯉のぼりも、心地良い風を受けながら元気に泳ぐ下で、4畝用の移植機が極早生種の苗を次々と植えていく。1日約1.5%のペースで極早生、早生、中晩生種の順で植えられていくと畑に緑のラインが描かれる。

昨年の6月、順調に生育していたタマネギを降雹被害で廃耕にした生産者は、特別な想いをもちながら定植作業に汗を流した。

その作業をじっと見守る鯉のぼりも、きっと「穏やかな天候に恵まれ、去年の分も取り返す気持ちでがんばろう!」と願っている。



【写真は4月22日、北見地区・豊地の坂本誠さんの圃場で撮影。撮影当日は、極早生種「北早生3号」を定植。円写真は、軽トラックで運んで来た苗を移植機に積み込む誠さんに手渡す奥さんの弘江さん。

当JA管内の今年の作付面積(加工も含む)は、4458㌥で生産量は24万7000㌥を計画しています】

もくじ CONTENTS

特集① 天気の変遷を見逃すな! 大雨から身を守ろう	4
特集② 会員と連携強めて生産向上 生産組織新代表の抱負	6
○季節の薫り	2
○表紙紹介 「家族のひまわり」	2
○JAきたみらい ホットライン東西南北	10
○ほのぼの広場 ・きたみらいのホームページ ・思い出の写真 ・マイティスト 「フットサル」 ・私のパートナー ・わが家のアイドル ・大きくなったら ・おらがまちのおしどり夫婦 ・まちがいがし ・読者の声	14
○JAからのお知らせ	18
○おひさまサラダクッキング 「梅マヨポテトサラダ」 「アスパラガスのポタージュ」	24

表紙紹介

家族のひまわり

昨年の11月16日、体重25.90kgの元気な男の誕生。お父さんの博之さんとお母さんの剛美さんは、「広い大地を風のごとく元気に走る馬のように」と願い、「楓馬」くんと命名しました。

誕生から5ヶ月を過ぎた現在、体重は63.00kgと大きくなり、首もしっかりと座り、寝返りもするようになり、来月からは離乳食も始まります。

家族の方々に、いろいろとお話しを伺っている時も楓馬くんは、顔を左右に動かしながら、笑顔をいっぱい見せてくれました。お母さんは「家族が周りにいると安心するのか、いつもニコニコしています」と話してくれました。おばあちゃんのお父さんは「内孫は初めて。家族の会話も楓馬を中心に弾んでいます」と嬉しそうに話す言葉から、楓馬くんは小野家の「ひまわりだ!」と感じました。

お父さんとお母さんは、楓馬くんを見つめながら「健康な体、そして元気に素直な子に育って欲しい」と話してくれました。



【ご家族紹介】
左から～お父さんの博之さん(28)、お母さんの剛美さん(26)と楓馬くん(5ヶ月)、おばあちゃんのお栄子さん(58)、おじいちゃんのお真由さん(59)。
小野さんでは秋小麦、てん菜、玉葱、馬鈴薯などを作付けしています。

天気急変を見逃すな！ 大雨から身を守ろう

近年、大雨による事故が発生しています。4月も3日、4日の両日、西日本から北日本にかけての広い範囲で「ゲリラ豪雨」が発生しました。地域によっては最大瞬間風速40[㍎]を越し、全国で4人の死亡、さらにハウス全半壊など大きな被害をもたらしました。いざというときのために、大雨から身を守る方法を知って備えましょう。

監修：一般財団法人日本気象協会 気象予報士 檜山 靖洋氏

大雨は着実に 増えている

最近、強く降る雨が増えている気がしませんか？ それは気のせいではなく、1時間に50[㍎]以上80[㍎]未満降る「非常に激しい雨」、80[㍎]以上降る「猛烈な雨」の回数は増えているのです。

1時間に50[㍎]以上の雨が降った回数は10年単位で比較すると、徐々に回数が増加しているのが分かります（グラフ参照）。また、降り方も「突然降る」傾向が目立ち、河川の急な増水で、洪水や浸水、山崩れ、がけ崩れ、土石流が起きやすくなっています。



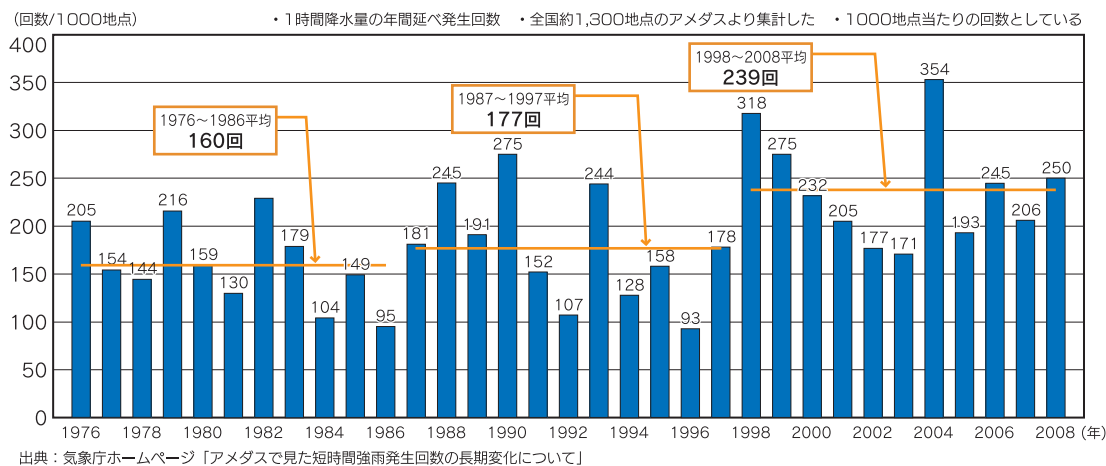
「集中豪雨」と 「局地的大雨」

大雨が増えている理由はまだ明らかになっていませんが、発生する状況については分かっています。

よくニュースなどでも取り上げられる「集中豪雨」。これは、台風や前線、低気圧などの影響や、雨を降らせやすい地形によって、積乱雲が同じ場所で次々と発生・発達を繰り返して、激しい雨が数時間にわたって降り続き、狭い地域に数百[㍎]もの総雨量をもたらすものです。

一方、大気の状態が不安定で、局地的に積乱雲が発達し、1時間に数十[㍎]以上の激しい雨を降らせるのが「局地的大雨」です。雨の降る時間や場所を正確に予想することは難しいため、「ゲリラ豪雨」とも呼ばれています。

1時間降水量50mm以上の発生回数（～2008/12/31・1000地点当たり）



雨の強さと降り方 —強い雨は5つのランクに分けられます—

1時間降水量(mm)	10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上
予 報 用 語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	土砂降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる
被害の発生状況	長く続くときは注意が必要	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まる	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要	マンホールから水が噴出する。土石流が起りやすくなる多くの災害が発生する	雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要

参照：気象庁2009年3月「大雨や台風に備えて」

大雨によって起こる危険をチェック！



参考：気象庁 2009年2月「局地的大雨から身を守るために—防災気象情報の活用の手引き—」

大雨に備える！ 3つのポイント

1 天気予報で事前に備える
「集中豪雨」は台風や前線、低気圧などが関係するため、天気予報の注意報や警報で、事前に備えることもできますが、「局地的大雨」は、積乱雲がどこで突然発生し、その広がり、はどのくらいなのかによって異なるため、場所や範囲を事前に特定するのは今のところ難しいのが現状です。ただし、天気予報で「大気の状態が不安定」「天気の急変に注意」「落雷や突風に注意」「所により雷」「晴れのち曇り、夕方から所により雷」などのキーワードがあるときは、「局地的大雨」になりやすい天候であることとを表しているため、備えることが大切です。ちなみに、天気予報で雨の降水確率をパーセンテージで表していますが、これはあくまでも雨が降る確立を表すもので、パーセンテージが低いから大雨にならないとは限りません。

2 ハザードマップで備える
大雨に備えて、住んでいる地域の「洪水ハザードマップ」や「土砂災害警戒区域図」を見ておくことも大切です。「洪水ハザードマップ」は、河川が

氾濫した場合の浸水を想定した地図で、避難所などが分かります。「土砂災害警戒区域図」は、土石流が発生する恐れのある溪流、がけ崩れなどが起きる恐れのある危険地域を示した地図です。

3 携帯電話を使って備える
外出時に天気を知るには、携帯電話を使うのがお勧めです。気象庁を始め、民間気象事業者、地方公共団体が携帯電話サイトを設けたり、メール配信などのサービスを行っています。

一般財団法人日本気象協会は、事前に設定した地域に雨雲が発生したとき、メールで知らせてくれる「雨雲アラート」を提供しています（有料）。詳しいサービス内容は、以下のアドレスからご確認ください。

(<http://www.jwa.or.jp/content/view/full/180/>)

※携帯電話で情報を見る場合は、パケット通信料が請求されますので、事前にご確認ください

外出時こそ気をつけたい！
こんな変化があったら

要注意

- 夏の晴天時、あっという間に積乱雲が大きくなった
- 灰色の（あるいは真っ黒な）雲が広がり、急に空が暗くなった
- 夏の晴天時、急に冷たい風が吹いた
- 雷鳴が聞こえてきた
- 稲妻が見えた
- 河川が増水してきた
- 河川が濁ってきた
- 河川の上流から木や落ち葉が流れてきた
- 河川の水量が少なくなった

以上の1～5の項目に一つでも該当する場合は、大雨となる可能性があるので注意。6～9の場合は河川には近づかないようにしましょう。



消費地の目線で

きたみらい玉葱振興会
会長 小野 洋一

当振興会は発足当時から、「きたみらい産玉葱」というブランド獲得を得るために、消費地から「物量だけ」と判断されない取り組みを行ってきましたが、今後も継続的に「信頼され」「選ばれ」「求められ」「声を聞ける」など消費地の目線に立った産地作りを行わなければなりません。

そのためにも、会員一人一人が「玉葱を作れている感謝」「消費地に供給する責任」「全国一産地としての責任と安定」「プロの自覚」「攻めの農業」などを認識することによって、きたみらいブランドが形成されるものと信じています。会員の皆さん、植え付けを無事終えた後も、管理作業の徹底に努め、豊穡の出来秋を共に迎えましょう。

【役員】(敬称・略)									
会長	副会長	理事	監事						
小野 洋一(訓子府)	宮下 尚樹(北見)	古屋 和徳(端野)	北町 渡辺 琢磨(留辺蘂)	澤山 一之(留辺蘂)	井上 幸雄(訓子府)	林 幸彦(訓子府)	渡辺 隆幸(相内)	岩崎 信夫(上常呂)	吉田 英樹(北見)
			竹田 幹雄(端野)	土山 清隆(端野)	加藤 英樹(北見)	土山 清隆(端野)	加藤 英樹(北見)	加藤 英樹(北見)	加藤 英樹(北見)

【事業計画】

- ①品質の高位平準化
- ②販売促進・主産地視察
- ③系統関係機関の訪問
- ④各振興会の交流及び親睦
- ⑤適正品種の検討
- ⑥「安全・安心」に係ること
- ⑦玉葱青年部支援
- ⑧他生産組織との連携
- ⑨その他

玉葱振興会

成数 502人
構員



馬鈴薯振興の発展に

きたみらい馬鈴薯振興会
会長 平川 千春

当振興会が設立して節目の10年を迎えますが、先代役員各位築き上げてきた当会を、さらに強固にすると同時に、道内主要産地としての地位を消費者と実需者に定着させることが重要です。そのために、①地区を越えた生産者同士のつながり、市場とユーザーとのつながりの強化。②技術向上と高品質、高収量、所得の安定化。③シストセンチュウ蔓延防止対策の啓蒙と抵抗性品種の導入と積極的な販売活動。④新集出荷施設の有効利用などの4点を、当会役員及び会員の皆様としっかりタッグを組んで、馬鈴薯振興及び発展に取り組みたいと考えます。この1年間、農作業事故などに十分に気をつけて、豊穡の秋を迎えましょう。

【重点目標】

- ①農作業事故防止の啓蒙活動
- ②シャガイモシストセンチュウ蔓延防止対策と啓蒙活動
- ③高収量・高品質と正歩歩留り向上に向けた取り組み
- ④長期的計画出荷の検討及び選果場間の高位平準化によるブランド確立
- ⑤栽培履歴及び残留農薬検査実施による安心・安全な産地づくり

馬鈴薯振興会

成数 432人
構員



【役員】(敬称・略)									
会長	副会長	理事	監事						
平川 千春(端野)	堺 信幸(置戸)	佐藤 茂樹(訓子府)	北口 裕生(相内)	須河 純一(端野)	谷川 英一(端野)	島倉 博文(北見)	岡見 義忠(北見)	藤原 大造(上常呂)	角田 正吉(上常呂)
			石村 博樹(置戸)	武藤 一仁(訓子府)	西森 孝広(訓子府)	星加 幸司(相内)	長山 幸司(相内)	長山 幸司(相内)	長山 幸司(相内)

会員と 連携強めて生産向上 ～ 生産組織新代表の抱負～



J A きたみらいの組合員で構成する生産組織は、水稻、畑作、野菜、畜産など16組織あります。
23年度事業を終えた2月から3月にかけて、水稻と畑作関係の生産組織の総会が開かれ、本年度の事業方針や活動計画、さらに役員改選などが行われましたので、各組織の重点項目と新しく選任された会長の抱負などを伺いましたので、今回、特集としてご紹介します。



「きたゆきもち」一本化

きたみらいもち米振興会
会長 森谷 雅 美

実需者に安定供給する上で、安定生産が重要であります。当振興会として、778%の作付けを計画し、良質米の安定生産に向け、実需者・消費者が求める「安定供給」「安全・安心」に应运て参ります。

本年のもち米栽培については、「きたゆきもち」に一本化となりますので、施肥基準・いもち病対策など栽培技術の確立に取り組み、3年連続の豊作を迎えたいと願っています。

当振興会発足当初の作付面積は、1100%から780%に減少したことに伴い、施設統一に向けた試算も行っていますが、当面、2施設で処理し、経費削減に取り組んで参りますので、会員皆様のご協力をお願い申し上げます。



【役員】(敬称・略)	
○会長	森谷 雅美(相内)
○副会長	安斉 秀一(北見)
○理事	砂野 政美(上常呂)
○監事	市田 啓一(北見)
〃	島 貴 亨(訓子府)
〃	川 岸 正志(相内)
〃	加藤 聖(上常呂)
〃	山田 孝幸(端野)
〃	細川 孝雄(訓子府)
〃	落井 信久(端野)

- 【重点項目】
- ① 安全・安心なもち米の安定生産、安定供給
 - ② 栽培技術の統一
 - ③ 広域処理体制構築の検討
 - ④ 組織再編の検討
 - ⑤ 地区組織との連携
 - ⑥ 関係機関との連携
 - ⑦ その他

もち米振興会

成数 207人
構員



組織再編のスタート

きたみらい豆類振興会
会長 茂住 修 二

昨年は高温・多湿に悩まれ、生産者にとって2年連続で苦労した年でもありました。

この様な中、当振興会は本年度から会計の一本化、事業活動もセンター中心のスリム化を図って行きます。将来に向けていろいろな課題もありますが、会員各位の意見や要望などがセンターに届く振興会にしたいと思っています。また、豆類面積の維持検討、さらに畑作の輪作体系を守る上でも、重要な作物としての啓蒙活動も大切と考えています。

日本一の「白花生」産地として、作付面積は減少傾向になっていますが、消費地から信頼される産地として、「栽培技術の平準化」「品質向上」「安全・安心」を共に取り組んで頑張りましょう。



【役員】(敬称・略)	
○会長	茂住 修二(留辺蘂)
○副会長	小川 淳志(北見)
○理事	角田 大造(上常呂)
○監事	牧嶋 重雄(訓子府)
〃	田中 圭(相内)
〃	丸本 仁(端野)
〃	福崎 波夫(温根湯)
〃	佐藤 孝之(置戸)

- 【重点項目】
- ① 品質の向上
 - ② 作付けの推進
 - ③ 取扱要領の設定
 - ④ 販売力の強化
 - ⑤ 各種試験研究
 - ⑥ 消費地訪問の実施
 - ⑦ 支部組織との連携
 - ⑧ その他

豆類振興会

成数 235人
構員



てん菜の維持発展

きたみらいてん菜振興会
会長 小林 一 明

近年のてん菜は、悪天候による低収量と低糖分からの収入落ち込み、さらに作付面積も減少傾向と厳しい状況下にあります。

一方では、砂糖の国際相場が上昇している中、国は昨年、環太平洋連携協定(TPP)交渉への参加を表明しており、参加締結となった場合、我々農業者を始め、北海道農業やてん菜生産、さらに地域経済などに大きな影響を与えることになります。自然災害は元より、政治災害だけは何としても避けたいものと考えます。

当振興会も10年目を迎えようとしています。時代の流れに対応し、諸問題解決に向け、会員皆様の協力のもとてん菜の維持発展を図って参りたいと思います。

今年こそは天候に恵まれ、共に健康で良い出来秋を迎えられることを心からご祈念申し上げます。



【役員】(敬称・略)	
○会長	小林 一明(訓子府)
○副会長	原 智徳(北見)
○理事	武田 剛(端野)
○監事	牧野 篤嗣(温根湯)
〃	中沢 博之(置戸)
〃	古沢 栄一(訓子府)
〃	矢田 目孝裕(相内)
〃	澤田 正直(上常呂)
〃	西原 宏(北見)
〃	落井 秀雄(端野)
〃	堂本 鎌造(留辺蘂)
〃	河野 由文(置戸)

- 【重点項目】
- ① 面積確保対策
 - ② 遊離土処理対策
 - ③ 原料集荷計画
 - ④ 各種試験研究
 - ⑤ 組織再編の検討
 - ⑥ 支部組織との連携
 - ⑦ 関係機関との連携
 - ⑧ その他

てん菜振興会

成数 672人
構員



きたほなみ栽培技術の確立

きたみらい麦作振興会
会長 河合 正 福

本年度における当会の活動計画の軸に、「きたほなみ栽培技術向上と効率収穫の取り組み」を第1回役員会で決定致しました。

栽培技術向上は、従来の品種と違い茎数管理と後期追肥が重要視されるため、普及センターとふれあい担当職員の皆さんに協力いただき、圃場での講習会を実施し、会員の理解を深めて行きたいと思っています。効率収穫は昨年一部において実施した経過がありますが、本年度は、組織全体の取り組みとして、遠隔圃場を該当地区で収穫することについて検討を行っております。また、春小麦の面積が倍増したことを踏まえ、播種期日を例年より早めて効率収穫を図って参りますので、会員皆様のご協力をお願いすると共に、豊稔の秋を願っております。

最後に2年間、新役員で事業遂行に向けて取り組んで参りますので、宜しく願い申し上げます。

【役員】(敬称・略)	
○会長	河合 正福(訓子府)
○副会長	西野 繁(上常呂)
○理事	伊藤 正史(端野)
○監事	羽馬 祐二(温根湯)
〃	本條 覚(温根湯)
〃	坂下 忠(留辺蘂)
〃	加藤 昭義(留辺蘂)
〃	高谷 勲(置戸)
〃	森谷 弘二(置戸)
〃	鳥山 博司(訓子府)
〃	松井 秀樹(相内)
〃	吉村 静一(上常呂)
〃	福田 保志(北見)
〃	中林 久志(端野)
〃	北村 栄治(相内)
〃	石原 正勝(北見)

- 【重点項目】
- ① 良質麦生産体制の構築・栽培技術の高位平準化・栽培履歴の記帳・残留農薬検査・簡易DON検査・適期収穫体制の構築・良質小麦種子生産体制の構築・麦生産工程管理・土壌診断の励行
 - ② 地区組織との連携
 - ③ 関係機関との連携
 - ④ その他

麦作振興会

成数 783人
構員



GPS農業に興味津々

～春の講習会に
青年部員30人参加～

ONNEYU



▲GPSシステムの説明を熱心に聞く部員の皆さん

青年部温根湯支部（東海林健支部長）は4月5日、温根湯地区事務所で「春の講習会」を行い、部員30人が参加しました。

講師に㈱ビコンジャパン帯広営業所の宿谷貴博販売主任氏を招き、「GPS機能を使用した精密農業」について学習しました。

宿谷氏は、世界共通の「GPS」で圃場の外周、形状、位置を正確に

測定し、設定されたラインに合わせて農業機械を走行させ、肥料散布などを行うシステムの説明を行い、GPSシステムにより適正量の散布によって、時間短縮や散布量の削減につながることを強調しました。

部員は時間短縮や作業の効率化、そして生産資材の無駄を省くことが経営を左右することから、真剣な表情で受講していました。

グリーンアスパラ 選別始まる

～今季の出荷量
7トに見込む～

AINONAI



▲1束150gに束ねるパート従業員

ハウス栽培のグリーンアスパラの収穫作業がスタートし、相内地区の選果場で4月24日から選別作業が始まりました。

パート従業員の皆さんは2し、し、M、Sなど規格毎に選別し、1束150gに束ねていきます。

今年の面積は約4畧で、8月下旬

まで出荷が続けられ、総出荷量は約7トを見込んでいます。

ハウス栽培の最盛期を迎えた後は露地栽培、立茎栽培へと移り、約5ヶ月間のリレー出荷となります。

今年もシャキッとした食感のグリーンアスパラが、消費者の食卓を賑やかにしてくれます。

東 西 南 北

▼圃場で開かれた講習会に参加した生産者のみなさん



KAMITOKORO



「きたほなみ」の 特性活かして収量増

～秋小麦技術講習会に
生産者など39人参加～

上常呂振興会は4月12日、秋小麦栽培技術講習会を会員の圃場2カ所で行い、生産者など39人が参加。

本講習会は、栽培技術の向上と収量増加を目的として、講師に網走農業改良普及センターの山下普及員と吉川普及員を招きました。

両普及員から製品歩留りを高めるために、生育後半に追肥のできる茎数管理の徹底や、追肥の時期によつ

て効果が現れる要素などの説明がありました。また圃場では、茎数の数え方なども説明しながら「圃場条件にあった追肥管理を実践しよう」と呼び掛けがありました。

受講した参加者は、雪解けを待ち望みながら「きたほなみ」本来の収量を目指す」という意気込みが伝わってきました。

▼農薬勉強会に参加した部員のみなさん



OKETO



農薬の 適正使用法を学ぶ

～農薬勉強会に
部員9人参加～

青年部置戸支部農産部会（中川隆部会長）は3月30日、本年度の活動計画に沿って「農薬勉強会」を置戸地区事務所で行い、部員9人が参加しました。

J Aの技術開発グループ・溝井主幹を講師に招き、農薬（基礎編）などの知識を高めました。

溝井主幹は「農薬の分類と効果」

「保護・浸透性殺菌剤の比較」など事例を含めて説明。部員からは展着剤の使い方や水量と防除剤ガイドに対する質問が活発に出されました。

また、農薬散布の基本技術と適正防除も併せて研修した中で、ドリフト対策を万全にするポイントも再確認し、意義ある勉強会となりました。

新会長に 樫山 馨さんを選出

～端野町農業情報研究会
第18回通常総会～

TANNO



▲新役員を代表して挨拶する樫山会長(左)

端野町農業情報研究会(寺崎博会長)は4月9日、端野地区事務所第18回通常総会を開き、会員42人が出席。議長に北川憲一さんを選出し、23年度の事業と決算報告、24年度活動方針(案)と収支予算(案)、役員改選など審議した後、全議案が承認されました。

役員改選で新会長に選任された樫山馨さんは「前会長がこれまでに担ってきた重責を感じながらも、会員皆さんの協力を受けながら、精一杯組織発展に取り組みたい」と、就任の挨拶を行いました。

同会は平成6年に設立され、間もなく節目の20年目を迎えます。今後モパソコン簿記研修や経営分析、農業政策の意見交換などの活動を展開し、更なる活動の充実が期待されます。

茎数管理徹底で 製品歩留りを

～小麦現地講習会に
生産者18人参加～

KITAMI



▲吉川普及員の説明を熱心に聞く生産者のみなさん

北見市麦作振興会は4月11日、地区ごとに小麦現地講習会を開催し、仁頃地区では、生産者18人が参加しました。

春の雪解けが遅れ、圃場に入れないことから、仁頃麦作生産組合の倉庫前で行われました。網走農業改良普及センターの吉川普及員より「きたほなみ止葉期までの管理」について、融雪以降の追肥開始時期の判断基準などの説明を受けました。

麦の低収が続いている経過も踏まえて吉川普及員は「窒素追肥ができる茎数管理を徹底し、製品歩留りを高めてほしい」と呼び掛けました。

風が強く肌寒い1日でしたが、参加者の皆さんは、豊稔の秋を願いながら熱心に受講していました。

東 西 南 北

▼両支部長の挨拶を聞く参加者みなさん



RUBESHIBE



転がるボールに 一喜一憂

～ボーリング大会に
両支部から22人参加～

女性部の留辺蘂支部(春木君枝支部長)と温根湯支部(永江美貴子支部長)は4月17日、市内のボーリング場で「支部間交流」を行いました。

昨年に続く2回目の交流となったボーリング大会に、両支部から22人の部員が参加。両支部長から「交流を深め合い、楽しい時間を過ごそう」と挨拶があった後、混合チームで大

会がスタートしました。ガーターにため息、ストライクに歓声とハイタッチなど、部員の投球に一喜一憂の姿が見られました。

競技終了後の焼き肉を囲んだ懇親会では、汗を流しながら楽しんだボーリング、そして間近に迫った春の植え付け作業などの会話が盛り上がりしました。

▼上田園長(左)にマスコットを手渡す役員の方のみなさん



KUNNEPPU



子供の安全を祈願し マスコット人形贈る

～小学校と幼稚園
150個プレゼント～

フレッシュミズ訓子府支部(中西智子支部長)は4月2日、町内の2つの小学校と幼稚園を訪れ、新入学や入園する子供たちに交通安全を祈願した手作りの「マスコット人形」150個をプレゼントしました。

悲惨な交通事故から子供たちを守り、会員自らも農作業安全を再確認することを目的に、昭和57年から取り組み、今回で30回目を迎えました。

会員が冬期間を利用して、町特産のメロンをかたどったマスコットを一つずつ真心込めて作り上げ、訓子府神社で安全祈願を行いました。

幼稚園を訪れた役員は、88個のマスコットを上田園長に手渡しました。

毎年のプレゼントに上田園長は「園児が元気に通園できるのも、マスコットのおかげです」とお礼の言葉を述べていました。

私のパートナー



今月号の「私のパートナー」は、「春の植え付け作業が始まると、子どもと遊ぶ時間が少なくなるので、今、いっぱい遊んであげています」と笑顔で話してくれた木村一彦さん、艶さん夫妻を紹介します。

笑って過ごせる家庭

上常呂地区・常川

木村 一彦さん(36歳)
金 艶さん(36歳)

Q ご結婚されたのはいつですか？

平成22年6月です。

Q 初めて会った時の印象は？

一彦さん「感じのいい人だなあ」と思いました。

艶さん「優しくそう」

Q 艶さんの出身地は？

中国の大連でお茶の販売事業を営んでいます。

Q 子ども何人？

現在は男の子1人いますが、もう1人は欲しいですね。

Q 互いに感謝しているところは？

一彦さん⇒家のことは任せていますが、そつなくこなしてくれることや料理が上手でおいしいことです。

艶さん⇒とても優しく、怒ったりしないところが大好きです。

Q 1週間休みがあったら何をしたいですか？

子どもと遊んでいるのが楽しいので、ずっと子どもと遊んでいます。

Q どんな家庭を築きたいですか？

家族仲良く、笑って過ごせる家庭でいたいと思っています。

Q 目指す農業は？

米と畑作三品の作付け体系を維持し、規模拡大を図りたいと思います。



【写真説明】

体育館に50人ほどの児童と先生などが集まり、大きな声を出しながら行われた剣道の稽古。

端野地区・協和

山内 幹司さん(53歳)



思い出の写真

剣道の稽古

この写真は今から45年ほど前、協和小学校の体育館（現在は協和文化センター）で、放課後に行われた剣道の練習様子を撮ったものです。

写真の左側に、白のスポンにストライプの半袖シャツを着て防具を身に付け、練習に励んでいるのが山内さんで、7～8歳の頃です。当時の協和小学校は、複式学級で60人余りの児童がいました。

昭和42年の4月に、同小のクラブ活動として剣道クラブが結成され、毎週1時間ほどの稽古を行い、指導は同小の先生と地域の農家の方々が当たっていましたが、端野町における「剣道の発祥の地」とも言えます。

冬は冷え切った体育館での稽古、先生との練習で、「メーン」と竹刀で叩かれて痛かったこと、稽古を終えて家で作ったインスタントラーメン（ダブル）がおいしかったことなど、いろいろな思い出を話してくれました。

小中学校時代は、北見地方剣道大会の優勝や網走管内の団体戦でも上位入賞した実績もあり、現在は7段の腕前で、剣道スポーツ少年団の指導も続けています。

山内さん「武道は礼で始まり、礼で終わると言われ、心身ともに鍛えられました」と当時を振り返り、「今の子どもたちに、私たちの時代と同じ様にとはならないが、剣道を通じて礼儀の大切さを指導していきたい」と意欲的に話してくれました。

マイテイスト フットサル

My Taste

井上さんは、小・中学校とサッカーをしていました。就農後も「サッカーがしたい！」という気持ちを常々持っていますが、仕事柄、夏場はなかなか趣味に費やす時間はありませんでした。

そんな時、友人から声がかかったのがフットサルでした。フットサルは室内でできるサッカーなので、悪天候や冬場でも楽しめるスポーツです。

現在は「プロディージョ」というチームに加入し、6名程度で週2回集まって練習に励んでいます。井上さんは「何よりも天候や季節に関係なく、どんなシーズンでもでき、サッカーよりも少ない5名という人数で気軽にできる」、さらに「ピッチのサイズも小さいので、攻撃のパターンも様々です」とフットサルの魅力を話してくれました。

また今後の目標をたずねると、「とにかく楽しく、ケガしないようにできれば良いです」と、フットサルが仕事の気分転換になっている様子が伺えました。



北見地区・豊地

井上 満さん(27歳)



▲フットサルチームの「プロディージョ」のみなさん。井上さんは前列左から2人目。

ほのぼのの広場



きたみらいの
ホープさん

やりがいある職業

置戸地区・川南

川 畠 鉄 矢さん(21歳)

鉄矢さんは、酪農経営と合わせ、てん菜も作付けしている清一さん、恵美さん夫妻の長男で就農して2年目です。

趣味は？

高校時代に3年間続けていたテニスです。

理想の女性？

いっしょに仕事をやってもらえるような女性。

結婚はいつ頃までに？

出来れば早くしたいです。30歳前位には。

休日はどんな事をしていますか？

音楽を聴いたり、車の運転が好きなのでドライブしたりしています。

農業で学び実感したことは？

農業って思い通りにならないんだなと思いました。だけど難しいですがやりがいのある仕事だと実感しています。

農業に対する抱負を

この先の日本農業がどうなるか分かりませんが、不況に負けることなく自分の農業を貫き、頑張っていきたいです。

6月号の「ホープさん」は、JAきたみらい青年部相内支部の？さんを予定しています。広報編集委員が、突然、取材にお伺いすると思いますが、何卒、ご協力願います。

まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分があります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B



4月号クイズの当選者

4月号のまちがいさがしの答えは「2. 4. 5. 7. 11」でした。正解者48名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。尚、抽選はJ Aきたみらいの山本常務にお願いしました。

() 内は地区名

- ・山梨 由衣さん(温根湯)・細川美恵子さん(訓子府)
- ・坂下なごみさん(留辺蘂)・伊藤 虹穂さん(相 内)
- ・どんぐりC水野さん(置 戸)・今田 涼花さん(上常呂)
- ・下地利恵子さん(訓子府)・原田 敏昭さん(北 見)
- ・堀口 紀子さん(訓子府)・松下 明美さん(端 野)

以上の方々には、日清食品のカップ麺「北の焼きそば・オホーツク北見塩やきそば」を5個プレゼントします。



応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。抽選で10名の方に、このほど新発売されたJ Aきたみらいの冷凍コロケ(5ヶ入り)3種類をプレゼントします。

今 日は大安。孫のこいのほりを上げてやり、嬉しそうに見ているじいちゃんとはあちゃんです。毎日、風が強いのでビニールハウスが心配です。

(訓子府地区・匿名希望)

お二人で嬉しそうに眺めている姿が想像できます。間もなく、忙しい植え付け作業が始まりますが、こいのほりのように頑張って下さい。

僕 は美唄から来たので、塩やきそばを食べたことがありません。食べてみた〜い。

(置戸地区・匿名希望)

お父さんのお仕事の関係で置戸町にこられたのですか？もし、はずれてもこれからも応募下さい。

や っと、絵のまちがいに分かるようになりました。これからも楽しみにしています。

(留辺蘂地区・おばあちゃんから)

今年で5歳になるのでは？

集中力を身につけるための一つとして、まちがいさがしも良いかもしれませんね。

今 年もまた忙しい日々が始まります。就農して30年が経ちましたが、毎年が1年生です。とにかく1年、心も身体も穏やかに過ごせることを目標に頑張ります。

(訓子府地区・細川美重子さん)

本当に忙しい時期が来ますね。毎年、同じ作物を作っている、新たな気持ちで望めることが農業の素晴らしさだと思います。是非、頑張って下さい。

大きくなったら



置戸地区・豊住
井上こころちゃん
大地くん
(7才)(9才)

優しい保育士

こころちゃん

わたしは小さい子や赤ちゃんが大好きなので、大きくなったら保育士さんになりたいです。優しい保育士さんになって小さい子のお世話をしたいです。

農家になります

大地くん

ほくはお父さんみたいな農家になって、いろんなものを作りたいです。お父さんの運転するリフトに乗せてもらったり、草取りを手伝っています。

井上英生さん、恵さん夫妻のお子さん。こころちゃんはバレエ少年団、大地くんはサッカー少年団に加入し、練習に励む仲良しな姉弟です。

ほのぼのの広場



留辺蘂地区・大富
橘 芽唯ちゃん(2歳)
来 輝くん(4ヵ月)

弟想いのお姉ちゃん

留辺蘂町内のマリア保育園に通う芽唯ちゃんに昨年の12月、弟の来輝くんが誕生し、庭先に大きな鯉のぼりが元気よく泳いでいます。弟ができてから、少し「甘えん坊」になったようですが、来輝くんのオムツを捨てたり、顔に薬を塗ったりと、お母さんのお手伝いもしっかりしている芽唯ちゃんです。

保育園で覚えた歌を、手をたたきながら歌ってあげると、ホッペプリンプリンの来輝くんは、満面の笑顔で大喜び。そんな二人にお母さんは「健康で元気なのが何よりです」と話してくれました。

芽唯ちゃんと来輝くんは、留辺蘂地区・大富の橘秀俊さん、美咲さん夫妻の長女と長男です。

おらがまちの



苦楽共に54年

おしどり夫婦



訓子府地区・北栄

南 敏雄さん(80歳)
タマ子さん(76歳)

昭和7年、南家の次男として生まれ、小学校の高等科を卒業。農業に従事しながら、4Hクラブや通信教育で農業技術の習得に努め、冬期間は山へ働きに出掛け、生計を助けていました。昭和33年にタマ子さんと結婚。その翌年、現在地に家を建て、豆など5畝の栽培から始まり、現在では移譲した現在でも、トラクターなどを運転しながら農作業に頑張っています。お二人は、道路清掃やゴミの分別、さらには、タマ子さんの旅行を楽しんでいます。

敏雄さん

タマ子さん

昭和11年、北見市仁頃で法村家の長女として誕生。22歳の時、敏雄さんと知り合い、昭和33年12月に結婚。一男一女が生まれ、独立の第一歩を踏み出した。敏雄さんは、タマ子さんの第一歩を支え、タマ子さんは、敏雄さんの第一歩を支え、二人は、苦楽共に54年を共に歩んできました。敏雄さんは、農業に情熱を注ぎ、タマ子さんは、家庭をこなし、二人は、互いを支え合っています。敏雄さんは、農業に情熱を注ぎ、タマ子さんは、家庭をこなし、二人は、互いを支え合っています。

INFORMATION

第9回通常総代会

経営理念「組合員のために 現場を原点に事業運営」

魅力あつて選ばれて
地域貢献できるJAに総力結集

事業計画など 全12議案を承認

きたみらい農業協同組合の第9回通常総代会が4月13日、北見市内のホテルで総代378人（本人262人、代理18人、書面98人）出席のもと開催し、全議案が原案通り決定しました。

来を左右する外交交渉は断固認めない。消費者や地域住民と共に問題点を情報発信していく」と強い姿勢を示しました。

09年に樹立した第3次農業振興方策と中期経営計画では「営農支援機能の強化のための出向く営農を基本姿勢に総力を結集したい」とし、「組合員のための経営理念のもと、現場を原点とした事業運営に努力を注ぐ」と決意を述べました。

▲262名（総代本人）が出席して開かれた第9回通常総代会と開会挨拶を述べる西川組合長（左写真）



▲総代会の議長を務めた高谷勲氏（左・置戸）と菅原吉和氏（右・端野）



▲開会、閉会宣言を行った大坪常務



▲監査報告を行う福田代表監事



▲来賓を代表して祝辞を述べる小谷北見市長



▲系統を代表して祝辞を述べる北海道信連の武田北見支所長



▲閉会挨拶を行う坂下専務



▲TPPなど貿易交渉に関する決議（案）を読み上げる斉藤女性部長



見市長、武田道信連北見支所長の祝辞を受けた後、2名の議長を選任して議案審議に入りました。

23年度事業報告と決算報告、24年度の事業計画では農畜産物取扱高の他、馬鈴薯選果施設などの施設整備計画や、25年度役員改選から適用される現在の理事定数を8人減の20人とする定款変更などの12件の議案が原案通り決定しました。

また、TPPなど貿易交渉に関する決議案を、JAきたみらい女性部の斉藤部長が力強く読み上げ、満場一致で採択されました。

最後に坂下専務の閉会挨拶、大坪常務が閉会を宣言し、午後3時15分に全ての日程を終了しました。



▲各提出議案の採択で挙手を持って賛成の意を表する総代のみなさん

総代会で新たに選任された



安田政弘 理事
（上常呂）



吉田正実 理事
（上常呂）

INFORMATION



▲札幌市民ホールに1500人が結集して開かれた2つの集会

絶対必要！国民合意

JA道中央会や連合北海道など42団体が構成して、午前10時から開いた道民集会には約1500人が参加。主催者代表挨拶で、JA道中央会の飛田稔会長は「TPPは農業だけでなく、郵政や医療、保健、食の安

全・安心など、社会の仕組みを一変させる」と、前のめりな政府に危機感を表しました。高橋はるみ知事からは「交渉に関する情報は極めて不十分。道民や国民合意がないまま参加表明することは断固反対する」とエールが送られた後、道議会の喜多龍一議長からも、激励の挨拶がありました。

引き続き行われた基調講演では、日本消費者連盟共同（NPO法人）の山浦泰明代表は「私たちのくらしとTPP」と題し、TPPの交渉分野を

TPP参加阻止に全道から1500人結集 反TPPで2つの集会

拙速なTPP交渉参加表明に反対する「道民集会」と、TPP交渉参加断固阻止「北海道総決起大会」が4月27日、札幌市民ホールで開かれ、当JA管内からも農民協議会などの代表者を始め、当JAの役員員など23人が参加しました。

JA道中央会など道内1次産業連4団体が主催となって、TPP交渉参加断固阻止「北海道総決起大会」が、引き続き行われました。主催者挨拶で道中央会の飛田会長は「交渉参加に有利な情報しか開示せず、極めて不適切な対応」と指摘。さらに「国内の暮らしや大きな禍根を残すことは明白。交渉参加は国民をだます背信行為で、断じて許されない」と訴えました。

道中央会の長谷川幸男副会長が大衆決議を読み上げて、満場の拍手で採択されました。ガンバロウ三唱の音頭をとったJA道青協の黒田栄継会長は「明るい未来をつかみ取るために、全力で闘おう」と、1500人の参加者に呼び掛けました。

明るい未来を求め闘う決意新たに

紹介し、貿易救済（セーフガード等）の要件が厳しくなり、保険や共済制度も見直される恐れがあると指摘。その後、北海道経済連合会や北海道医師会などが意見表明。TPP交渉への参加表明は、時期尚早との声や日本の医療制度が崩壊すると懸念の考えを述べました。



▲プラカードを持参して2つの集会に参加した当JAからのみなさん

質問・意見を述べられた13名の総代



置戸地区 森脇 弘己さん



置戸地区 東海林正幸さん



置戸地区 佐藤 正光さん



上常呂地区 渡部 幸一さん



上常呂地区 角田 誠二さん



端野地区 山内 幹司さん



端野地区 会田 貢さん



端野地区 広瀬 顕司さん



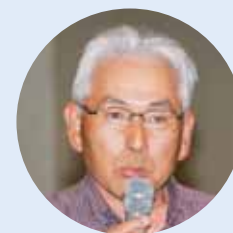
北見地区 鈴木 郁雄さん



北見地区 米森 裕之さん



訓子府地区 中山 譲二さん



訓子府地区 山本 祐一さん



訓子府地区 大正寺信雄さん

総代の質問と意見

提案した議案に対して、13名の総代より質問と意見が出されました。主な内容は次の通りですが、それぞれ総代会の席上で理事者側より答弁が行われました。

【議案第1号から第3号までに係る意見・質問】

- 総代数並びに役員数の変更に伴い、組合員の意思反映の影響は。
- 組合員数が減ってきているので、役員数の減少に賛成したい。
- 役員選任の区域について、購買部門でのエリア構想と異なる理由は。また、区域を検討する際、販売額を考慮していると言っていたが、それはなぜか。
- 参事制と学識経験理事の違いは何か。

【議案第6号について係る意見・質問】

- 監事監査報告で、農協の適切な事業運営を求められたことから、多くの総代より、「役員は主権が組合員であるということを考えて、しっかり対応して頂きたい」との意見が出されました。議長団より、総代の意見を踏まえ理事会で早期解決を図る事の附帯意見を頂きました。



▲総代の質問に答弁する西川組合長



INFORMATION

第3回 理事会報告

●平成24年4月21日（土）

4月21日、午前9時より第3回定例理事会が開催され、報告事項10件、議決事項13件が協議され、原案通り承認されました。

- 【報告事項】
- ①組合員状況報告について
 - ②財務状況報告について
 - ③馬鈴薯集出荷施設工事に係る入札結果について
 - ④4月4日の爆弾低気圧による被害状況について
 - ⑤平成23年度産共計玉葱・馬鈴薯の選果状況について
 - ⑥生乳生産状況及び個体取引価格について
 - ⑦平成24年度畜産物価格の決定内容について
 - ⑧今後の農業農村整備事業に係る対応について
 - ⑨T P P 道民集会及び北海道総決起大会の参加について
 - ⑩購買部門の連休対応について

- 【議決事項】
- ①出資増減口及び持分譲渡について
 - ②固定資産の取得及び処分について
 - ③諸規程の改定について
 - ④役員退職慰労引当金の取崩し及び役員退職慰労金の支給について
 - ⑤行政庁に提出する業務報告書について
 - ⑥地区運営委員会委員の選任と委嘱について
 - ⑦理事報酬の配分について
 - ⑧地区運営委員長の選任について
 - ⑨専門委員の選任について
 - ⑩総代選挙の日程（案）について
 - ⑪当組合との利益相反取引に係る取扱いについて（H24クミカン貸越限度額及び供給限度額）
 - ⑫平成24年度産青果物取扱要領（野菜7品目）の設定について
 - ⑬訓子府町農業委員の推薦について

組合員向け

地域住民向け



JA北海道中央会は4月24日、平成23年度全道JA広報誌コンクール審査結果を発表しました。
JAきたみらいは「組合員向け広報誌部門」と「コミュニティー誌部門」に参加しました。
北海道新聞社論説委員の土江富雄氏を審査委員長に、学識経験者やJAグループ北海道広報委員会幹事会で構成する審査委員会が、広報誌の企画力やレイアウトなどを審査。
その結果、広報誌部門の最優秀賞にはJA新はこだてが輝きました。
当JA広報誌「おひさまサラダ」は、昨年に続いて優秀賞に選ばれました。また、コミュニティー誌部門の最優秀賞と優秀賞の該当JAはなく、当JAの「ぐりんgreen」は奨励賞を受賞しました。
なお、上位受賞（最優秀賞と優秀賞）のJAは、6月19日に予定されているJA道中央会臨時総会で表彰される運びとなっています。
後日届く、審査委員長の審査講評をもとに、誌面の再チェックを行い、より良い広報誌発行に努めたいと思います。



▲広報誌コンクールに応募した「おひさまサラダ」と「ぐりんgreen」

馬鈴薯集出荷施設

工事の安全祈願

10月末に完成予定

北見市東相内にある青果物センターの馬鈴薯集出荷施設の改修・整備工事の安全祈願祭が、4月17日に行われました。工事完了は10月末、今季産馬鈴薯の選果稼働を目指します。1971年に造られた同センター（鉄筋平屋建て、床面積4200平方メートル）の選果場兼貯蔵倉庫を改修し、生食用選果機を導入します。
新選果機の選別処理能力は原料ベースで1日120ト。旧選果機に比べ作業効率が大幅にアップします。

また、中心空洞の馬鈴薯を赤外線センサーで除去するセンサーも整備されます。これにより、センサーは当JAの主要馬鈴薯選果施設4カ所全てに揃い、より高品質品の出荷体制が整います。
総事業費は12億7000万円。「強い農業づくり事業」で導入されます。祈願祭には生産者やJA役職員、工事関係者など55人が出席。
西川組合長は「安定供給体制が整うことで、馬鈴薯振興が一層強化される」と挨拶しました。



▲安全祈願祭で挨拶する西川組合長

乳質改善で9年連続

安孝志さん最優秀賞

個体管理など徹底

きたみらい酪農振興協議会（越智孝会長）は4月20日、第9回通常総代会を当JAの訓子府地区事務所で開催しました。
総会に先立ち、平成23年度の乳質改善表彰を行い、安孝志さん（置戸地区・常盤）が9年連続で最優秀賞に輝きました。同協議会は、JAとともに乳質の衛生向上を図る活動を毎年、表彰しています。
表彰基準は、生菌数が1ミル当たり1万4000個以下（通年）、体細胞は同10万個以下（年間平均）をクリアすることが条件。安さんは、昨年4月からの1年間で、生菌数は1000個以下、体細胞は2万4000個と、基準を大幅に下回る画期的な成績を9年続けました。この数値は全国、全道でもトップクラスの水準で、「昨年商品化した「きたみらい牛乳」の原料としても使われ、消費者から「まろやかでおいしい」と好評で、前年度は計画を大幅に上回る2万9000本を販売しました。
安さんは「家族一人一人が、乳牛

の個体や牛舎内の衛生向上に努めようと共通認識を持ち、当たり前のことを徹底して続けてきた結果」と喜びを話してくれました。

乳質表彰者の成績

【最優秀賞】（単位：万/ml）

地区	氏名	体細胞数	生菌数
置戸	安孝志	2.4	0.1

【優秀賞】

地区	氏名	体細胞数	生菌数
留辺蘂	今野春雄	4.6	0.1
置戸	竹内進	4.7	0.1
訓子府	堀口一博	6.4	0.1
置戸	布田透	6.6	0.1
置戸	小嶋春夫	6.6	0.1
置戸	松田契一	7.1	0.1
温根湯	畠山政博	7.5	0.1
訓子府	黒川国則	7.6	0.1
北見	(有)上野牧場	7.8	0.1
置戸	坂本了一	8.0	0.1



▲最優秀賞を受ける安孝志さん(右)

【優良賞】

地区	氏名	体細胞数	生菌数
端野	斉藤義行	8.8	0.1
置戸	奥山広美	8.8	0.1
置戸	中井應義	8.9	0.1

【努力賞】

地区	氏名	体細胞数	生菌数
相内	鈴木伸一	10.6(22.4)	0.1(0.3)

TPPの影響知ってと独自にパンフ配布

3市町に5万8000部

JAきたみらいは、TPPの本質を一般市民や町民に広く知ってもらおうと、「みなさんと考えたいTPPの影響について」と題したパンフレット5万8000部を作成。当JAでは4月26日、北見、訓子府、置戸3市町の地域住民向けに定期発行しているコミュニティー誌「おひさまサラダ ぐりんgreen」第20号を発行するのに合わせて配布しました。
パンフはB4サイズの両面オールカラー。表はTPPで想定される暮らしへの影響として、「農業の壊滅的打撃」「日本の医療の崩壊」「経済や雇用の悪化」など4項目を掲載。裏はTPPが締結された場合、北海道とオホーツク管内の影響額や雇用減少などを紹介しています。
西川組合長は「私たちの将来を考えた時に、本当に参加していいのかと市民や町民の皆さんに伝えなければならぬ」と、発行にあたっての決意を話していました。



▲コミュニティー誌「ぐりんgreen」第20号といっしょに配付されたTPPパンフレット(左)



【材料：4人前】

ジャガイモ ……2個(300g)
ピーマン ……1個
タマネギ ……1/4個(50g)
A 砂糖 ……小さじ1杯
酢 ……小さじ2杯
塩・コショウ ……各少々
B マヨネーズ ……大さじ3杯
梅肉(たたく) ……大さじ1杯分

梅マヨポテトサラダ

【エネルギー150kcal・塩分0.8g・調理時間15分】

【作り方】

- ①ジャガイモは洗い、水けを拭かずに皮付きのまま1個ずつラップでふんわりと包む。電子レンジ(500W)で両面を4分ずつ加熱し、触れるくらいの熱さになるまでそのまま置いておく。
- ②ピーマンはへたと種を除き、2～3mm幅の横細切りに、タマネギは薄切り、ハムは半分に切って、さらに1cm幅に切る。
- ③①をレンジから取り出し、皮をむいてボウルに入れ、粗くつぶす。
- ④③にA、タマネギ、ピーマンを加え、混ぜる。
- ⑤④にBとハムを加え、全体に大きく混ぜる。

一家の光2012年4月号料理カードからー
調理:小林まさみ



【材料：4人前】

グリーンアスパラガス…2束(200g)
ジャガイモ ……小1個(100g)
タマネギ ……1/3個(70g)
バター ……大さじ2杯
A 牛乳 ……2カップ
顆粒コンソメスープの素 ……小さじ1杯
生クリーム ……1/2カップ
塩 コショウ 生クリーム

アスパラガスのポタージュ

【エネルギー295kcal・塩分0.7g・調理時間30分】

【作り方】

- ①アスパラはかたい部分を折り、折ったところから約3cm分の皮をむいて、4cm長さに切る。ジャガイモは皮をむいて薄い半月切りにし、水にさらす。タマネギは薄切りにする。
- ②鍋にバターを入れ、タマネギ、ジャガイモを加え、焦がさないように、中火でしんなりするまで炒める。アスパラを入れて炒め、Aを加えて煮る。沸騰直前で弱火にし、5～6分煮て火を止め、あら熱を取る。
- ③②をミキサーにかけ、なめらかになったら鍋に戻し、生クリーム、塩・コショウ各少々を加え混ぜて温める。
- ④器に注ぎ、生クリーム少々をたらす。

一家の光2012年4月号料理カードからー
調理:小林まさみ

編集後記

- ・4月中旬からの晴天が続き、春小麦の播種やタマネギの定植作業が一斉に始まりました。黒い土の畑にタマネギの緑色の苗が次々と植えられ、春到来を肌で感じさせてくれる季節となりました。
- ・この季節になると、ちょっとした油断から「農作業事故」も多くなります。是非とも、朝の作業前、休憩時、お昼休み時に「気をつけよう!」や「安全運転で!」などの声を掛け合って、春の植え付け作業を乗り切りましょう。もう一度最後に「気をつけて、頑張ってください!」。

(堀 仁志)

JAきたみらい概要

(平成24年4月17日現在)

- ・組合員数(正) 1,820人
- ・組合員数(准) 5,751人
- ・組合員戸数(正) 1,229戸
- ・貯金 102,665百万円
- ・貸出金 18,092百万円
- ・出資金 5,090百万円